

2018年1月11日

J X T G エネルギー株式会社
執行役員東北支店長 大 浜 健 様

青森県生活協同組合連合会	会長	平野了三
岩手県生活協同組合連合会	会長理事	飯塚明彦
秋田県生活協同組合連合会	会長理事	大川 功
宮城県生活協同組合連合会	会長理事	宮本 弘
山形県生活協同組合連合会	会長理事	菅井道也
福島県生活協同組合連合会	会長	吉川毅一

(公 印 略)

家庭用灯油に関する要請書

貴社におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より生活協同組合の諸活動にご高配賜り、心より御礼申し上げます。

東北に住む私たちにとって「灯油」は欠くことができない生活必需品です。灯油価格は原油輸入価格に左右されるため、9月からの原油価格の上昇と為替が円安に進行していることから、国内灯油の卸価格が12月28日時点で15円ほど値上がりしています。また、円安による輸入原材料の値上げによる食料品や水光熱費などの諸物価の値上がり、消費税増税、社会保険料の増加など手取り収入は毎年減少して生活は厳しさを増しています。

家庭用エネルギーの安定的な供給と適正価格による供給は、国民が生活を営むうえで必須的な条件であり、必要な施策をとることを私たちは求めてきました。行政に対しては、行き過ぎた円安にならないようにするとともに経済への悪影響を緩和するような対策、原油市場における投機的な取引を抑えるための取引の透明化などの施策、経済的弱者に対する支援策としての灯油購入補助制度の実施等です。

石油業界へは灯油の価格決定の透明性と十分な在庫等です。最需要期になると灯油だけが他の石油製品より高くなったり、原油価格相場以上に仕切り価格が上がるということのないようにお願いします。在庫量に関しては、現在十分な量を積み上げていますが、これから寒くなる需要期に入ると一気に在庫量が減ります。そこへ、合理化を理由にした製油所の再編や灯油在庫の削減をすすめられると、燃料不足で生活に影響がでることに繋がりがかねません。また、全国では毎年1千箇所ペースで給油所が減り、今後過疎地や被災地での給油所不足が問題になります。過疎地におけるSSの減少問題も非常に重要な問題です。燃料は、食料に次ぐ生命線です。

本格的な需要期を前に、くらしや地域経済に影響を及ぼすエネルギーに関して、消費者の立場から以下について要望いたします。

記

[要請項目]

- 1、北国の『必需品』である灯油が、他油種より高い状況や原油相場以上に価格が上がることをのまないよう適正な価格にしてください。
- 2、私たちが安心して生活するために、冬季間の灯油は安心できる在庫水準が必要です。灯油が生活者の必需品であることを踏まえ、需給をタイトに維持する計画を取らず、安定した供給となるよう強く要望します。特に、寒波や不測の事態が起きても生協に必要な量が速やかに入るようお願いします。

以上